



株主 通信

平成24年3月期
第2四半期報告書

平成23年4月1日～
平成23年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長 羽山明

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。平成24年3月期第2四半期の株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当上半期につきましては、本年3月に発生した東日本大震災により部品・原材料各社の工場が被災する中、当社は安定生産の継続に向けて代替品の採用などを行い、生産を継続してまいりました。

また、オリンパス株式会社との合併事業につきましては本年3月末日をもって終了し、同社グループが行っていたインクジェットプリンター本体の組み立てを8月より当社で開始いたしました。今後はオリンパス株式会社と共同で行ってきたインクジェットプリンターの開発についても全て当社が行い、インクジェット事業を当社単独で行ってまいります。

第四次中期経営計画 Riso Vision 13 (平成22年4月1日～平成25年3月31日)

中期経営方針 新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を構築する

数値目標

連結売上高:830億円
連結営業利益:25億円

重点項目

- (1)インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
- (2)グローバルな商品企画体制・販売企画体制の構築
- (3)生産体制・販管費構造のダイナミックな見直し

平成24年3月期経営方針(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

経営方針 震災等による不安定要因を克服するとともに、販売活動の活性化を図り利益体質を強化する

重点項目

- (1) サプライ・ハードの安定生産と継続供給
- (2) インクジェット事業の単独事業体制の確立
- (3) 海外販路の設定と育成・強化
- (4) 国内新規市場の獲得と既存販路との関係強化

以下に当社経営の現状についてご説明いたします。

中期経営計画・経営方針

当社グループは、平成25年(2013年)3月期を最終年度とする中期経営計画「Riso Vision 13」を策定し、印刷機器事業における新規顧客の獲得による健全な成長を重点課題に掲げ収益力の改善に取り組んでおります。当社の主たる事業である印刷機器事業においてはインクジェット事業が成長する一方、孔版事業は減少が続いております。インクジェット事業の成長スピードを上げることと孔版事業の維持・回復を目指すことが当社グループの対処すべき課題ととらえております。また、海外売上高比率が減少している中、海外の販路構築と育成を遂行することが急務であると認識しております。

このような状況のもと、平成24年3月期の経営方針は以下の項目を重点課題に掲げて運営しております。

- (1) サプライ・ハードの安定生産と継続供給
- (2) インクジェット事業の単独事業体制の確立
- (3) 海外販路の設定と育成・強化
- (4) 国内新規市場の獲得と既存販路との関係強化

当第2四半期累計の業績概況

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、印刷機器事業では国内の売上は堅調に推移しましたが、海外で販売が苦戦し為替の影響も受けたため売上は前年を下回りました。利益面では、当期からインクジェット事業を当社独自運営としたことにより売上原価は低減しましたが、のれん償却費の発生や研究開発費の増加等により販売費及び一般管理費が増加しました。これらの結果、売上高は359億4千4百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益は12億7千6百万円(同31.0%減)、経常利益は10億9千5百万円(同44.0%減)、四半期純利益は10億1千万円(同44.2%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、米ドル79.82円(前年同期比9.13円の円高)、ユーロ113.79円(同0.06円の円高)となりました。

通期の見通し

わが国経済は、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念を背景とした円高・株安の進行により、今後の景気の本格回復には依然として不透明な状況が続くものと思われます。海外の情勢においても、ギリシャの財政危機を引き金とした欧州財政不安、北アフリカ・中東情勢の緊迫化など予断を許さない状況が続いております。



(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。

このような経済環境の中、当社グループの印刷機器事業につきましては、国内ではインクジェット事業の伸長により売上は堅調に推移する見込みですが、海外の売上は引き続き苦戦することが予想されます。欧州や米州では販路の育成強化に努め売上の拡大を目指します。利益面では、のれん償却費や研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加するものの経費の効率化を図り利益の確保に努めます。

通期業績見通しは、売上高は757億円、営業利益は36億円、経常利益は35億5千万円、当期純利益は35億円を見込んでおります。なお、通期業績見直しにおける為替レートは、米ドル79円、ユーロ109円を前提としています。

当社グループは、今後も理想科学ならではの製品・サービスを提供し市場を拡大するとともに、経営資源を効果的に活用して利益体質の強化に努める所存です。

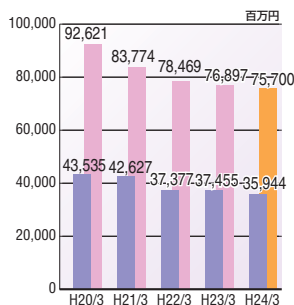
株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

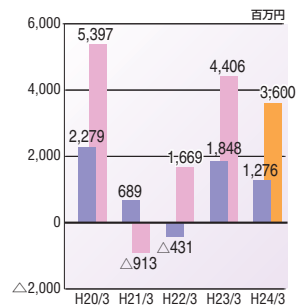
代表取締役社長
羽山 明

○連結業績ハイライト

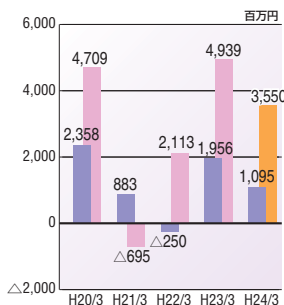
売上高



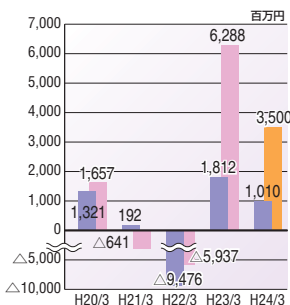
営業利益・損失



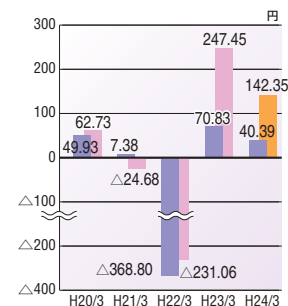
経常利益・損失



当期(四半期)純利益・損失



1株当たり当期(四半期)純利益・損失



凡例:

- 第2四半期累計
- 通期
- 通期見込



毎分最速200枚の高速処理ができる全自動紙折機『理想紙折機R-92』を発売

当社は本年6月に『理想紙折機R-92』を発売しました。同機は、毎分最速200枚の処理速度でスピーディーに紙折りができる全自動タイプの紙折機です。幅広い用紙サイズ*と紙質に対応し、DMやポスティングチラシ、案内文書など、さまざまな用途でお使いいただけます。

さらに当社の高速カラープリンターオフィスやデジタル印刷機リソグラフと組み合わせて利用することにより、



高速全自動紙折機『理想紙折機 R-92』

出力から紙折りまでの作業時間をトータルで短縮でき、外注費などのコスト削減と省力化が期待されます。

*A3～B7判までの定型用紙に対応しています。

筑波工場にてオフィスの製造を開始

当社はオリンパス株式会社との合併事業を終了し、今期よりインクジェットの開発・生産に単独で取り組んでいます。インクジェットプリンターの生産ノウハウの引き継ぎと生産設備の構築が完了し、8月から茨城県の筑波工場で製造を開始しました。これを記念し、同月筑波工場にて羽山社長による理想科学生産のオフィス1号機のねじ締め式を行いました。



筑波工場での記念式典の様子
(平成23年8月)

今後とも、品質第一をモットーに安心してお使いいただける製品の供給に努めてまいります。

「環境経営報告書2011」を発行

当社は、「環境経営報告書2011」を本年8月に発行しました。同報告書は「環境」や「社会」への取り組みがどのように経営に反映されているかをわかりやすくお伝えしています。また、本年度版では当社のことを初めてお知りになる方にも活動概要をご理解いただけるよう、主要製品の特徴と活躍の場を簡潔にまとめたページを設けました。さらに、開発・生産・物流など企業活動の流れに沿った環境保全活動を従業員から紹介しています。

今後も印刷業務の効率化と環境負荷低減を両立し、環境に配慮した製品の開発に努めてまいります。



従業員がわかりやすく環境保全活動を紹介した
「環境経営報告書2011」

台風12号の被害に対する義援金寄付を実施

当社は本年9月に発生した台風12号による被害が特に大きかった3県(三重県、奈良県、和歌山県)に対し、被災者支援のため総額100万円の義援金を寄付いたしました。

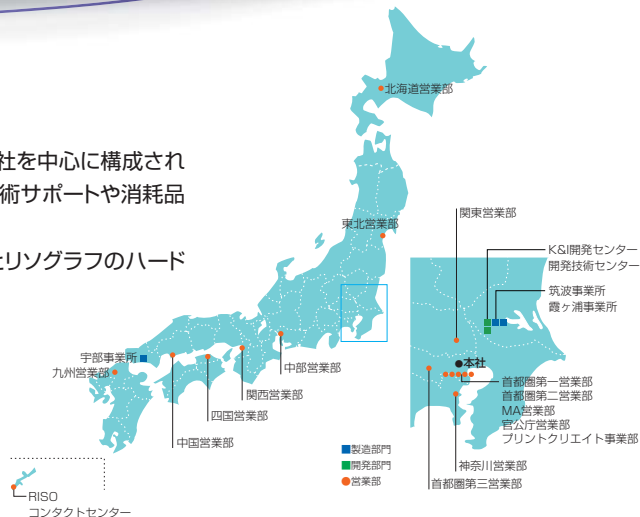


国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はオルフィスとリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はK&I開発センターと開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は20の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。

●海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO Do Brasil, Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想(中国)科学工業有限公司*
- 理想(上海)国際貿易有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.



*珠海理想科学工業有限公司は平成23年12月1日に社名変更いたしました。



財務諸表の概要(連結)

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

● 貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成23年3月31日	平成23年9月30日
流動資産	49,263	42,933
● 現金及び預金	13,780	10,862
受取手形及び売掛金	13,881	11,385
有価証券	4,096	5,213
たな卸資産	12,933	11,596
その他	5,056	4,308
貸倒引当金	△ 485	△ 433
固定資産	40,591	39,829
有形固定資産	28,442	28,188
建物及び構築物	6,369	6,300
機械装置及び運搬具	937	837
土地	17,139	17,139
その他	3,995	3,910
無形固定資産	7,315	6,917
のれん	2,633	2,304
ソフトウェア	1,552	1,432
その他	3,129	3,181
投資その他の資産	4,833	4,723
投資有価証券	1,572	1,473
その他	3,388	3,355
貸倒引当金	△ 126	△ 105
資産合計	89,854	82,762

(注)当第2四半期の有形固定資産の減価償却累計額 40,691百万円

POINT① 現金及び預金

自己株式の取得と配当金の支払により現金及び預金が減少しました。

(負債の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成23年3月31日	平成23年9月30日
流動負債	22,267	18,305
● 支払手形及び買掛金	12,366	9,446
短期借入金	2,160	1,977
一年内返済予定の長期借入金	3	3
その他	7,736	6,877
固定負債	5,492	5,316
長期借入金	53	51
退職給付引当金	3,597	3,654
その他	1,841	1,610
負債合計	27,759	23,621

(純資産の部)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末
	平成23年3月31日	平成23年9月30日
株主資本	64,633	62,881
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	36,249	35,998
● 自己株式	△ 511	△ 2,011
その他の包括利益累計額	△ 2,538	△ 3,740
● その他有価証券評価差額金	△ 21	△ 110
為替換算調整勘定	△ 2,516	△ 3,630
純資産合計	62,095	59,141
負債純資産合計	89,854	82,762

POINT② 支払手形及び買掛金

当期からオルフィスを自社生産していることによりオリンパス株式会社への支払が減少しました。

POINT③ 自己株式

当上半期は108万1千株(14億9千9百万円)の自己株式を取得しました。



財務諸表の概要 (連結)

● 損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成23年4月1日～ 平成23年9月30日
売上高	37,455	35,944
印刷機器事業	36,636	35,168
日本	22,019	22,254
米州	3,717	2,758
欧州	6,397	5,927
アジア	4,502	4,228
不動産その他事業	818	775
売上原価	18,902	16,623
売上総利益	18,553	19,320
販売費及び一般管理費	16,704	18,043
営業利益	1,848	1,276
営業外収益	464	300
営業外費用	356	481
経常利益	1,956	1,095
特別利益	—	338
税金等調整前四半期純利益	1,956	1,433
法人税等	143	423
四半期純利益	1,812	1,010

POINT ④ 売上高

前年同期比で15億円の減少となりました。このうち為替影響額は6億円でした。

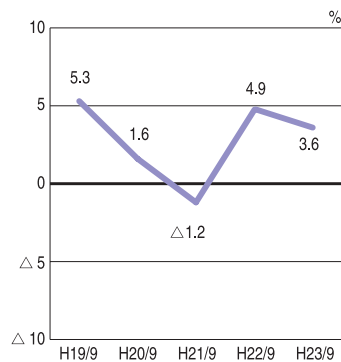
POINT ⑤ 売上原価・売上総利益

オフィス本体を自社生産したことにより売上原価が減少し、売上総利益が増加しました。

POINT ⑥ 販売費及び一般管理費

前期末にインクジェット事業を買収したことにより、当期からのれん償却費や研究開発費が増加しました。

売上高営業利益率
(第2四半期累計)



(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

● キャッシュ・フロー計算書

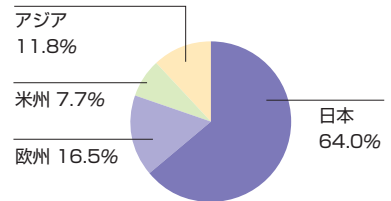
(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成23年4月1日～ 平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126	2,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	116	△ 634
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,074	△ 2,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 597	△ 592
現金及び現金同等物の増減額	△ 429	△ 1,727
現金及び現金同等物の期首残高	17,910	17,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,481	15,402

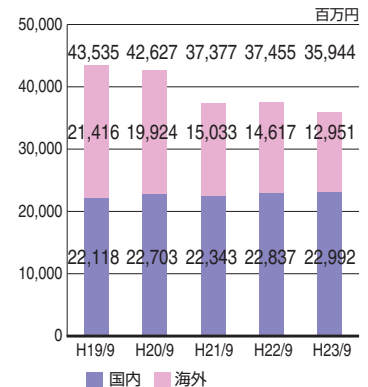
POINT ⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に自己株式の取得と配当金の支払によるものです。

地域別売上高比率
(当第2四半期累計)



国内・海外売上高
(第2四半期累計)



さらに詳しい情報に関してはこちらへ <http://www.riso.co.jp/ir/>



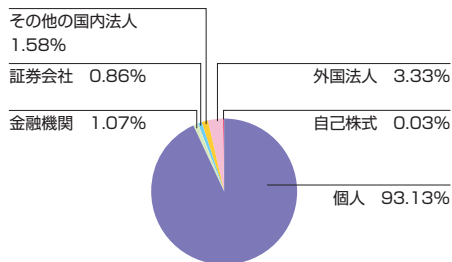
株式の状況 (平成23年9月30日現在)

● 発行可能株式総数 **67,840,000株**
(前期末比 増減なし)

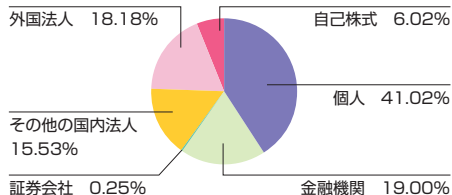
● 発行済株式の総数 **25,703,166株**
(前期末比 増減なし)

● 株主数 **3,360名**
(前期末比60名 増加)

● 株主数比率



● 株式数比率



● 大株主一覧(上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	9.61
理想科学工業株式会社	1,546	6.02
公益財団法人理想教育財団	1,330	5.18
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカン クライアント	1,300	5.06
羽山 昇	1,155	4.50
羽山 明	1,040	4.05
理想科学工業従業員持株会	996	3.88
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	941	3.66
羽山 治	840	3.27
羽山 尚	840	3.27

(注) シルチェスター・パートナーズ・リミテッド(旧名称:シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド)及びその共同保有者であるシルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピーから平成22年11月8日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当第2四半期末日現在における実質所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター・パートナーズ・リミテッド	0
シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピー	3,067

● 自己株式の取得について

当第2四半期累計期間中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	1,081,000株
取得価格	1,499百万円



会社概要 (平成23年9月30日現在)

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385
東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,985,384円
- 従業員数 1,743名(グループ全体 3,156名)
- 連結子会社 25社(国内3社 海外22社)
- 役員

代表取締役社長	羽山 明
常務取締役	高橋 靖宏
常務取締役	国谷多可史
取締役	遠藤喜八郎
取締役	阿部 和男
取締役	藤岡 秀則
取締役	高橋 康信
取締役	上田 雅弘
取締役	橋本総一郎
常勤監査役	山本 邦明
常勤監査役	山本研十郎
監査役	飯塚 良成*
監査役	八田 進二*

理想科学に関する様々な情報は ホームページでご覧になれます。

当社ホームページは、製品・サービスや採用のほか、会社情報や環境への取り組みなど多くの情報を発信しています。「株主・投資家情報」では、財務やIRに関連するニュースやデータをはじめ、決算短信や有価証券報告書、内部統制、コーポレートガバナンス、株式手続きなど様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

- ホームページ
<http://www.riso.co.jp/>



- 株主・投資家情報
<http://www.riso.co.jp/ir/>

(注) * 印は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

● 今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社 の全国各支店ならびに日本証券代行株 式会社の本店及び全国各支店で行って おります。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

● 株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等の お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別
口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の
口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申
出ください。

■ 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社
にお申出ください。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社／〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

証券コード 6413



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、
FSC™認証紙を使用しております。